

# 大漁祈る切り子飾り、竜神の怒り鎮める絵馬…

# 南三陸 文



伝承切り紙の変遷などを紹介した南三陸研究会

から伝わる伝承切り紙の変遷を紹介。「何度も天変地異に見舞われた三陸で、お供え物に見立てた餅や大漁を祈ったタイの切り子が根付いた」と説明した。

東北大災害科学国際研究所の川島秀一教授(文学)は、三陸地方の神社に奉納される「うせ物絵馬」を解説した。海を守る竜神の怒り

子飾りを展示した。研究会は月1回開き、郷土史の読書会などを計画する。発起人で入谷地区出身の山内明美大正大准教授(歴史社会学)は「津波で史書が失われる地域では、人同士で伝承していくことが必要だ。生存基盤として息づいていた文化を次世代につなげたい」と話した。

## 震災でコミュニティー分散 語り合いの場設け次世代へ



ロープウエーにつかまって滑走する子どもたち

気仙沼市の唐桑半島レジャーセンターにある「御崎こどもの広場」に、県共同募金会から遊具一式が贈られた。県観光PRキャラクター「むすび丸」ピンバッジの売り上げなどによる助成417万6900円を活用し、ブランコやジャングルジムを整備した。

披露式が10日、現地であり、募金会の樋口稔夫会長が、広場を

### 県共同募金会 気仙沼・唐桑に寄贈

地元の中井小の児童を代表して6年江畑聖蘭さん(12)が「遊具ができてうれしい。たくさんのおもたちに遊びに来てほしい」とお礼を述べた。子どもたちは早速、ロープウエーで滑走したりブランコをこいだりした。

ピンバッジ募金による遊具整備には本年度、2014年度に集まった1063万円を充て、唐桑地区のほか、石巻市牡鹿地区に500万円、女川町に80万円が助成された。

## こどもの広場 遊具いっぱい

「むすび丸」ピンバッジ売り上げなど417万円活用。

いろいろでスキの



かやぶき

## 絵札目指してダッシュ!

塩釜・杉村惇美術館 かるた大会

塩釜市杉村惇美術館で9日、巨大かるた大会が開かれ、約100人が参加した。

